

地区社会福祉協議会 概要

(令和6年度版)



社会福祉法人 平塚市社会福祉協議会
地区社協部会

この概要は赤い羽根募金の配分金で作られています



《 掲 載 項 目 》

1. 地区社協活動目的
2. 設立年月日
3. 地区状況（人口・世帯数・高齢化率）
4. 事務局
5. 会則制定日
6. 組織概要
7. 諸団体
8. 会議等
9. 実施事業（高齢者関係・障がい者関係・児童関係・世代間交流等）
10. 共催・協力事業
11. 特徴・PR（自由記載）
12. 活動写真（一部掲載）

《 目 次 》

地区社会福祉協議会とは	2
マップ	3
富士見地区社会福祉協議会	4
崇善地区社会福祉協議会	6
松原地区社会福祉協議会	8
港地区社会福祉協議会	10
花水地区社会福祉協議会	12
なでしこ地区社会福祉協議会	14
八幡地区社会福祉協議会	16
真土地区社会福祉協議会	18
四之宮地区社会福祉協議会	20
中原地区社会福祉協議会	22
南原地区社会福祉協議会	24
松が丘地区社会福祉協議会	26
豊田地区社会福祉協議会	28
田村地区社会福祉協議会	30
大神地区社会福祉協議会	32
横内地区社会福祉協議会	34
城島地区社会福祉協議会	36
岡崎地区社会福祉協議会	38
金田地区社会福祉協議会	40
土沢地区社会福祉協議会	42
旭南地区社会福祉協議会	44
旭北地区社会福祉協議会	46
金目地区社会福祉協議会	48

地区社会福祉協議会（地区社協）とは

地区社協は、全国・県・市の社会福祉協議会のように法律で規定された組織ではなく、地域住民が中心となって地域の福祉課題の解決に向けた方策の検討や支え合いによる『福祉のまちづくり』の実現に向けて、さまざまな福祉活動を展開している任意の団体です。

人々の多様な課題を把握するため、より生活の場に近い圏域で設置されており、概ね小学校区を単位として組織されています。

・地区社協の構成

地区社協は、自治会町内会・民生委員児童委員協議会・町内福祉村など地域の各種団体を構成メンバーとした協議体です。協議体であることの強みを活かした福祉活動の実践組織です。

＊構成メンバーは地区社協により異なります。

・地区社協の目的

地区社協は市内に23ヶ所あり、市社協と同一の理念を持ちながらも地区を限定し、よりその地域にふさわしい活動をしています。

基本理念は、「誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりの推進」であり、地域内のネットワークづくりに加え、ニーズの掘り起こしと課題解決に取り組んでいます。

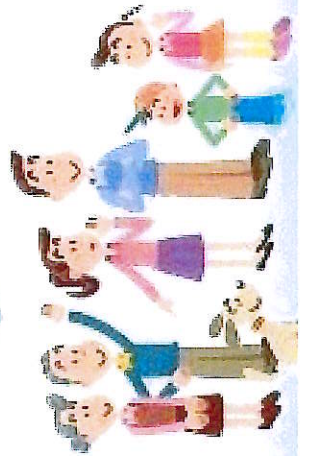
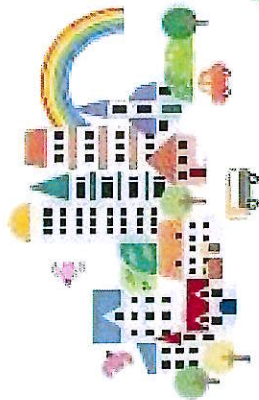
生活課題が多様化し制度や施策だけでは解決できない課題が多くある中、地域が抱えているさまざまな福祉問題を地域全体の課題としてとらえ、みんなで考え、話し合い、活動を計画し、協力して解決していくことを目指しています。

・地区社協の財源

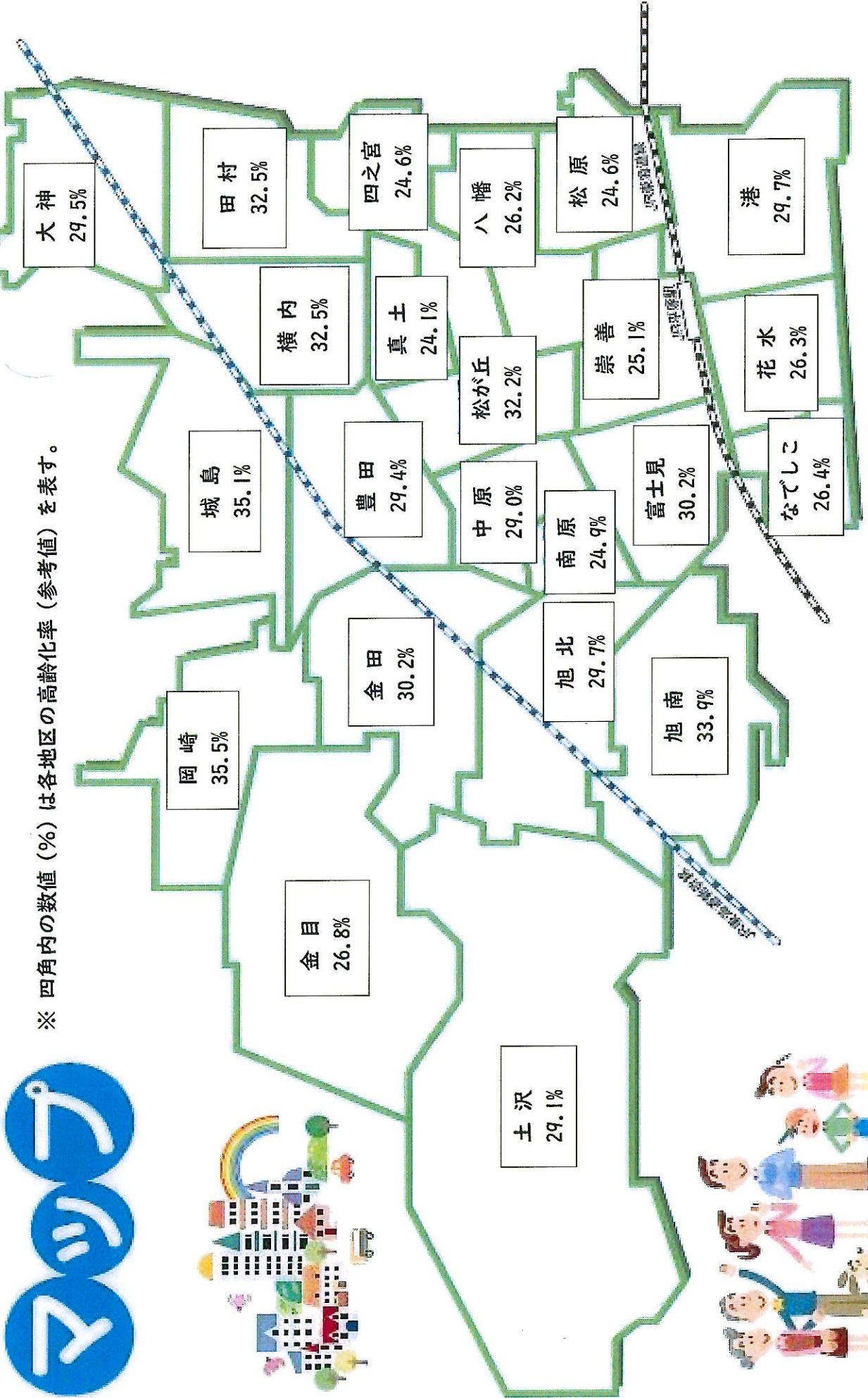
主な財源は、各種募金から配分される補助金、賛助会員会費からの配分金、平塚市社会福祉基金、小泉由治郎福祉活動基金からの助成金などです。

各地区では、地域の特色を活かし工夫された活動を年間を通して展開しています。また市社協とも協力体制をとり、情報の共有や市社協の取り組みへの参加など、広い範囲に目を向けて活動を進めています。

平塚市内の地区社会福祉協議会(地区社協)



※ 四角内の数値(%)は各地区の高齢化率(参考値)を表す。



富士見地区社会福祉協議会

地区社協活動目的

高齢化、少子化、社会的弱者等の増大傾向を直視し、富士見地区の社会福祉に係る施策をボランティア活動で取り組み、地域社会の発展を期することを目的とする。

設立年月日	昭和41年(1966年)12月10日		
地区状況	人口: 15,819人 ※1	世帯数: 7,215世帯 ※2	高齢化率(65歳以上):30.2% ※3
事務局	富士見地区社会福祉協議会 会長 小倉 俊宏		
会則制定日	昭和41年(1966年) 12月10日		
組織概要	<p>会長:1名 副会長:5名 顧問:6名 会計監査:2名 理事:16名 部長:各1名 副部長:若干名 会計:2名 書記:2名 福祉村担当:1名</p> <p>【構成団体】 町内会連合会、民生委員児童委員協議会、保護司会春日野班、食生活改善推進団体ももグループ、青少年指導員協議会、子ども会育成連絡協議会、体育振興会、青少年健全育成連絡協議会、防犯協会富士見支部、交通安全協会富士見支部、婦人団体連絡会、ゆめクラブ連合会、美化推進委員会、ごみ減量化推進員会、国連協会平塚支部富士見地区、春日野中学校PTA、富士見小学校PTA</p> <p>【部会】 総務部、広報部、福祉部、給食部、町内福祉村(ぬくもりの家) 在宅福祉サービス検討会(必要に応じて設置)</p>		
諸団体	自治会数:14地区自治会	民生委員数:26名(定数) 主任児童委員数:2名	
	ゆめクラブ(老人会):5クラブ		
会議等	総会:年1回(4月) 理事会:年1~2回(3月)		
	正副部長会議:毎月第1火曜日 10回		
	本部会議:毎月最終火曜日7回		
	各部会議(広報部・福祉部・給食部):必要時開催		
実施事業	分野	事業名	会場
	高齢者昼食会	ひとり暮らしお楽しみ給食会(みのり会)	富士見公民館
	地域サロン	交流ふれあいサロン	富士見公民館
	高齢者敬老会等	敬老お祝い会	富士見公民館
	地域・世代間交流	富士見小ふれあい給食	富士見小学校
	地域・世代間交流	富士見小3年生 昔あそび体験	富士見小学校
	地域・世代間交流	福祉ふれあい大会(富士見小ふれあいフェスタ)	富士見小学校
	見守り・施設訪問	貴峯荘 夏まつり	貴峯荘
	障がい者支援	貴峯荘 七夕車椅子介助	平塚駅周辺
	子育て支援	子育て仲間のおしゃべり会	富士見公民館

※1 令和6年1月1日現在

※2 令和6年1月1日現在

※3 令和6年1月1日現在(参考値)

	広報誌発行	富士見地区社協だより 年3回発行(臨時号含む)	
	その他	社協福祉バザー	富士見公民館
	その他	社会を明るくする運動	富士見公民館
共催・協力事業	①富士見公民館まつり		
	②富士見公民館賀詞交歓会		
	③市民体育レクリエーション富士見地区大会		
	④富士見地区夏まつり		
特徴・PR	<p>少子高齢化の全国的傾向が富士見地区にも確実に進行して参りました。社協は町連や各種団体、小・中学校と地区内住民の皆様の協力を頂き、交流ふれあいや事業に今まで以上に力を入れ住み良い富士見地区を目指したいと思います。富士見地区社協の組織内に町内福祉村(ぬくもりの家)を設け、町内福祉村事業グループにおいては別に運営規程を設け、運営されており、活発に活動を実施しております。</p>		

ひとり暮らしお楽しみ給食会



交流ふれあいサロン



崇善地区社会福祉協議会

地区社協活動目的

崇善地区内の地域住民及び関係団体等と共に、地域福祉の推進を図ることを目的とする。

設立年月日	昭和44年(1969)4月27日		
地区状況	人口: 18,174人 ※1	世帯数: 9,951世帯 ※2	高齢化率(65歳以上): 25.1% ※3
事務局	崇善地区社会福祉協議会 会長 倉田 良行		
会則制定日	昭和53年(1978)5月12日		
組織概要	会長: 1名 副会長: 若干名(現在は2名、行事総括、事務局長をそれぞれ担当) 常任理事・理事: 若干名(現在は、常任理事12名、理事14名) 会計監査: 2名 相談役: 1名		
	当地区社協は地域内に在住する住民を対象として組織し、①及び②により運営している。 ①地域住民 社会福祉に関心が深く、本会の趣旨に賛同する地域住民で会長が指名する者 ②関係団体が推薦する者 <関係団体> 保護司会、崇善地区自治会連絡協議会、崇善地区民生委員児童委員協議会、平塚市立崇善公民館、交通安全協会崇善支部、崇善地区青少年指導員協議会、崇善地区体育振興会、崇善地区老人クラブ連合会、崇善地区婦人部長会、平塚市立江陽中学校PTA、平塚市立崇善小学校PTA、見附コスモスの会、崇善地区社協給食奉仕会、崇善地区社協平塚駅バス停見守りの会		
諸団体	自治会数: 16地区自治会	民生委員数25名(定数)、主任児童委員数2名	
	ゆめクラブ(老人会): 11クラブ		
会議等	総会: 年1回(5月)		
	常任理事会: 月2回(第1火曜日・第3水曜日)		
	臨時定例会: 必要の都度開催		
	その他、各部会の会議		
実施事業	分 野	事 業 名	会 場
	高齢者福祉	ふれあい交流サロン(年間4回)	崇善公民館
		お楽しみ昼食会(年間6回)	
		ふれあいクリスマス会(12月)	福祉会館
		その他(関係機関等と連携した行事等)	—
	こども福祉	子育て支援「親子で遊びましょう」(毎月)	崇善公民館
		管内小中学校への図書寄贈(3月) ※福祉バザー売上金を原資として対応	崇善小、江陽中
		崇善小七夕おどり指導及びパレード随 行(6月、7月)	崇善小学校
		その他(崇善公民館とのコラボ行事)	崇善公民館
	地域福祉 (障がい者福祉を含む)	ふれあい福祉健康相談会(年間3回、6 月、10月、2月)	崇善公民館
福祉ふれあいまつり(3月)			
一声見守り運動(随時、高齢者・障がい 者等への声掛け)		崇善地区内	

※1 令和6年1月1日現在
 ※2 令和6年1月1日現在
 ※3 令和6年1月1日現在(参考値)

実施事業	地域福祉 (障がい者福祉を含む)	寝たきり高齢者・重度障がい者等への介護者慰問		崇善地区内	
		崇善かるた大会(「三世代交流かるた大会」社明運動対象行事)		崇善公民館	
		ちいき福祉講座 (ふくしの学びの場)	みんなで学ぶ認知症	8月(フォローアップ講座) 9月(サポーター養成講座)	崇善公民館
			学校と地域(第2回)	11月(崇善小対象)	
			地域合同研修会	実施時期未定	
		その他(崇善公民館等とのコラボ行事)		崇善公民館	
ボランティア活動(ボランティア団体等への支援を含む)		崇善地区内			
協力事業	①崇善公民館まつり(3月)				
	②崇善地区レクリエーション大会(10月)				
	③子ども大会				
	④こどもフェスタ(7月、市民活動センター主催)				
	⑤わいわいランド(12月、崇善小PTA主催)				
	⑥社会を明るくする運動参加(6月、7月)				
	⑦各種募金活動(5月赤十字、8月市社協賛助会員、10月赤い羽根、12月年末たすけあい)				
	⑧崇善地区新春の集い(1月、賀詞交歓会)				
特徴・PR	①地区の特徴 当地区社協は、平塚駅北口及び西口の北側に広がる商店街、住宅街、官庁街等をエリアとしている。地区内では、今なお多くの高層マンションが建設されており、人口構成では、40代、50代が最も多く占めている。一方、建設年度の古い集合住宅や戸建て住宅の地区などでは高齢化が顕著になっている。				
	②事業の特徴 当地区社協は、「高齢者」「子供」「障がい者」「地域」という4つの柱に基づき、それぞれ具体的な事業を展開している。				



ふれあい広場



ふれあい交流サロン



お楽しみ昼食会



崇善かるた大会



ちいき福祉講座



図書寄贈(崇善小・江陽中学校)

松原地区社会福祉協議会

地区社協活動目的

松原地区における住民・団体と協働して、地域福祉の推進を図ることを目的とする。

設立年月日	昭和42年(1967年)4月27日		
地区状況	人口: 8,483人 ※1	世帯数: 3,816世帯 ※2	高齢化率(65歳以上): 24.6% ※3
事務局	松原地区社会福祉協議会 会長 高田哲也		
会則制定日	昭和60年(1985年)5月15日		
組織概要	会長: 1名 副会長: 3名(1名欠員) 書記: 2名 会計: 2名 監事: 2名 常任理事: 若干名 理事: (50名を基準)		
	【構成団体】 自治会連合会、公民館、民生委員児童委員協議会、保護司会、町内福祉村、老人クラブ連合会松原婦人会、青少年指導員、江陽中PTA、松原小PTA、ごみ減量化推進委員会、防犯女性部、交通安全協会松原支部、常任理事経験者 【部会】 総務部、広報部		
諸団体	自治会数: 7地区自治会	民生委員数: 12名(主任児童委員2名を含む)	
	ゆめクラブ(老人会): 7クラブ		
	福祉村: 松原地区町内福祉村		
会議等	総会: 年1回(5月)		
	常任理事会: 毎月1回		
実施事業	分野	事業名	会場
	ふれあい福祉相談	小中学生学習支援「わくわく」	松原公民館
	福祉の学びの場	福祉ふれ愛まつり	松原公民館
	ふれあい広場	ふれ愛敬老会(長寿記念撮影会)	松原公民館
	見守り・訪問	寝たきり高齢者・介護者への慰問	松原地区
	見守り・訪問	ひとり親家庭への慰問	松原地区
	見守り・訪問	生計困難家庭への慰問	松原地区
	見守り・訪問	認知症の方・介護者への慰問	松原地区
	障がい者支援	障がい者への慰問	松原地区

※1 令和6年1月1日現在

※2 令和6年1月1日現在

※3 令和6年1月1日現在(参考値)

実施事業	訪問活動	満100歳お祝い	松原地区
	広報誌発行	「まつばら社協」発行:年4回	
	広報誌発行	行事ポスター等作成	
	その他	社会を明るくする運動	松原小学校
共催・協力事業	①松原公民館まつりにおいて模擬店出店		
	②市民体育レクリエーション松原地区大会において高齢者席担当		
	③松原地区盆踊り大会において模擬店出店		
	④松原公民館高齢者学級への呼びかけ		
	⑤まちぐるみ大清掃への呼びかけ		
	⑥神明神社例大祭において模擬店出店		
特徴・PR	<p>自治会をはじめ、各団体においても社協に対する理解が浸透しており、温かな協力のもとに事業が進められています。また、民見協・松原地区町内福祉村とは、地域福祉を推進する団体として良好な関係が続いています。</p> <p>また、馬入公益会・松原地区自治会連合会より手厚い助成金を頂いており、活動を行う際にも大変助かっております。</p>		

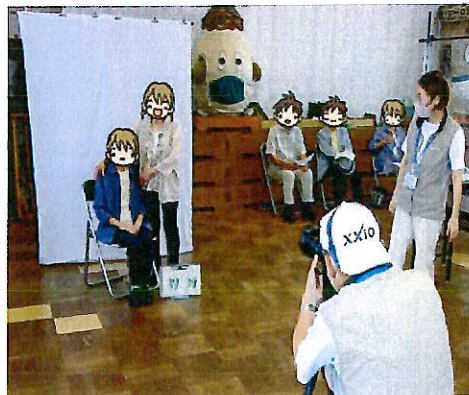
社明運動（ふれ愛ゲーム大会）



盆踊り大会模擬店



敬老会（長寿記念撮影会）



公民館まつり模擬店



福祉の学びの場



理事研修会



港地区社会福祉協議会

地区社協活動目的

「地域の助け合いによって安心して暮らせるまちづくり」を目指して、地域住民・諸団体との連携による福祉活動の充実を図ることを目的とする。

設立年月日	昭和41年 4月 1日		
地区状況	人口: 14,217人 ※1	世帯数: 6,593世帯 ※2	高齢化率(65歳以上): 29.7% ※3
事務局	港地区社会福祉協議会 会長 小川 誠		
会則制定日	昭和41年 4月 1日		
組織概要	会長:1名 副会長:3名 書記:1名 会計:1名 監事:2名 理事:60名以内 常任理事:15名以内		
	【構成団体】 各自治会、公民館、民生委員児童委員、福祉村、保護司、大洋中学校PTA、港小学校PTA、青少年指導員協議会、子ども会育成連絡協議会、体育振興会、美化推進委員会、ごみ減量化推進委員会、交通安全母の会、食生活改善推進団体ママの会、ゆめクラブ、公民館運営委員会、ボランティア		
	【部会】 広報部、活動部、ボランティアセンター		
諸団体	自治会数: 10地区自治会	民生委員数:21名(定数) 主任児童委員数:2名	
	ゆめクラブ(老人会): 6クラブ		
	福祉村: 港地区町内福祉村		
会議等	総会:年1回(5月)		
	理事会:年1回		
	常任理事会:年4回		
	役員会(事務局):年12回		
	港福祉まつり実行委員会:年3回		
	福祉ネットワークみなと:年2回		
実施事業	分 野	事 業 名	会 場
	ひとり暮らし高齢者昼食会	お楽しみ昼食会	須賀公民館
		宅配弁当	港地区
	地域・世代間交流	港福祉まつり	港ベイサイドホール
	地域サロン(ふれあいサロン)	須賀っとサロン	須賀北町自治会館
		公園健康体操	汐崎公園
	広報誌発行	「港社協だより」年2回発行	/
その他	社会を明るくする運動	港ベイサイドホール	

※1 令和6年1月1日現在

※2 令和6年1月1日現在

※3 令和6年1月1日現在(参考値)

共催・協力事業	①港公民館ふれあいまつり
	②青少年関係団体行事(青少年を守る会、こども大会、港地区教育を考える会、子ども会親睦ドッチボール大会、港地区郷土いろはカルタ大会、少年少女駅伝ロードレース大会)
	③納涼盆おどり大会
	④市民体育レクリエーション港地区大会
特徴・PR	<p>複雑化・多様化する今日の福祉課題の取り組みは、理事の方々をはじめとした港社協の運営に参画頂いている関係諸団体との連携と協働が必須です。人智を結集し、過去の経験を活かしながら、変化する社会情勢と多様化した福祉に合致した港社協の役割を模索し、港地区住民の誰もが安心して元気な日々を過ごせる地域づくりを目指します。</p>

【 お楽しみ昼食会 】 令和5年6月 実施



【 港福祉まつり 】 令和5年9月 実施

